



おおたわら市

議会だより

令和5年



No.210

〈題字〉 大田原高等学校 相馬 晴さん



屋台まつり

市議会では新型コロナウイルス感染症対策を徹底して、定例会を行っています。

3月定例会の主な対策内容

- マスクを着用（発言時も着用する）
- 傍聴の自粛（インターネット中継の視聴を推奨）
- 代表・一般質問の質問時間を短縮
- 議場内の窓や扉は換気のため開けたままにする



令和5年度

一般会計と5特別会計及び水道・下水道事業会計予算を審査

予算審査特別委員会



委員長
櫻井 潤一郎



副委員長
大豆生田 春美



※予算審査特別委員会全体会の様子

予算の概要

本定例会では一般会計と5特別会計及び水道・下水道事業会計の令和5年度予算関係議案が提出され、議員全員で構成する予算審査特別委員会を設置し、審査を行いました。

令和5年度の一般会計と各特別会計及び水道・下水道事業会計を合計した歳入歳出総額は531億4500万円、予算総額を前年度と比較すると、7億3430万円、1.4%増となりました。

なお、歳出予算増の主な要因は、障害者自立支援給付事業費及び児童福祉法施行事務費に係る扶助費、各種道路の整備事業費、学校給食費の公会計化に伴う賄材料費の計上、物価高騰による経常経費の増加などによるものです。将来にわたる持続可能な財政基盤を確立するため、財政健全化と市民サービスとのバランスを考慮した予算編成となりました。(各会計の詳細は以下のとおりです。)

■一般会計、各特別会計別予算、水道・下水道事業会計予算の概要

(単位：千円、%)

区 分	本年度予算額 (a)	前年度予算額 (b)	前年度からの増減額 (c)	比 率 (c) / (b)	
一 般 会 計	31,575,000	31,011,000	564,000	1.8	
特 別 会 計	国民健康保険事業費	7,790,000	7,850,000	△ 60,000	△ 0.8
	介護保険	7,360,000	7,092,000	268,000	3.8
	子育て支援券	19,400	19,400	0	0.0
	後期高齢者医療	811,300	816,300	△ 5,000	△ 0.6
	須賀川財産区	1,300	25,000	△ 23,700	△ 94.8
	小 計	15,982,000	15,802,700	179,300	1.1
水 道 事 業 会 計	2,485,000	2,579,000	△ 94,000	△ 3.6	
下 水 道 事 業 会 計	3,103,000	3,018,000	85,000	2.8	
合 計	53,145,000	52,410,700	734,300	1.4	

※水道事業会計及び下水道事業の金額は収益的支出と資本的支出の合計

令和5年 第1回

市議会定例会

令和5年第1回市議会定例会（3月定例会）は、3月6日（月）から3月23日（木）までの18日間を会期として開かれました。

本定例会に市長から提出された案件は、報告案件・人事案件・条例案件・令和5年度予算案件など35件であり、また補正予算案件・陳情案件を含めると計39件の審議を行いました。

令和5年度の一般会計予算額は障害者自立支援給付事業費及び児童福祉法施行事務費に係る扶助費、各種道路の整備事業費、学校給食費の公会計化に伴う賄材料費の計上、物価高騰による経常経費の増加などにより前年度と比較して5億6400万円、1.8

%増の315億7500万円となりました。

市長から財政健全化に向けた見直しを実行しながら、地域活性化や住民生活の向上を旨とした予算として編成したとの市政運営の所信が述べられた後に、予算全般に関する説明があり、予算審査特別委員会が設置され、付託された予算案件は分科会毎に担当課から詳細な説明を受け、慎重に審査した上で全体会に諮りました。採決では本会議に上程された議案は全て原案通りに可決し、陳情2件は不採択といたしました。

議案詳細と各会派代表質問、一般質問の内容については6ページ以降をご覧ください。

令和5年 第1回大田原市議会定例会 審議された議案等と結果

議案番号	議 案 件 名	結 果
報告第1号	市長の専決処分事項の報告について (損害賠償の額の決定及び和解について)	報告受理
報告第2号	市長の専決処分事項の報告について (損害賠償の額の決定について)	報告受理
報告第3号	市長の専決処分事項の報告について (大田原市文化財保護条例の一部を改正する条例の制定について)	報告受理
議案第1号	大田原市副市長の選任につき同意を求めることについて	同 意 (全会一致)
議案第2号	大田原市監査委員の選任につき同意を求めることについて	同 意 (全会一致)
議案第3号	大田原市須賀川財産区管理会委員の選任につき同意を求めることについて	同 意 (全会一致)
議案第4号	大田原市須賀川財産区管理会委員の選任につき同意を求めることについて	同 意 (全会一致)
議案第5号	大田原市須賀川財産区管理会委員の選任につき同意を求めることについて	同 意 (全会一致)
議案第6号	大田原市須賀川財産区管理会委員の選任につき同意を求めることについて	同 意 (全会一致)
議案第7号	大田原市須賀川財産区管理会委員の選任につき同意を求めることについて	同 意 (全会一致)
議案第8号	大田原市須賀川財産区管理会委員の選任につき同意を求めることについて	同 意 (全会一致)
議案第9号	令和5年度大田原市一般会計予算	原案可決 (賛成多数)

議案番号	議 案 件 名	結 果
議案第10号	令和5年度大田原市国民健康保険事業費特別会計予算	原案可決 (賛成多数)
議案第11号	令和5年度大田原市介護保険特別会計予算	原案可決 (賛成多数)
議案第12号	令和5年度大田原市子育て支援券特別会計予算	原案可決 (全会一致)
議案第13号	令和5年度大田原市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決 (賛成多数)
議案第14号	令和5年度大田原市須賀川財産区特別会計予算	原案可決 (全会一致)
議案第15号	令和5年度大田原市水道事業会計予算	原案可決 (全会一致)
議案第16号	令和5年度大田原市下水道事業会計予算	原案可決 (全会一致)
議案第17号	大田原市職員の配偶者同行休業に関する条例の制定について	原案可決 (全会一致)
議案第18号	大田原市歯及び口腔の健康づくり推進条例の制定について	原案可決 (全会一致)
議案第19号	行政組織改編に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	原案可決 (全会一致)
議案第20号	大田原市附属機関設置条例及び大田原市特別職の職員等で非常勤のもの の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 (全会一致)
議案第21号	大田原市情報公開・個人情報保護審査会条例の一部を改正する条例の制定 について	原案可決 (全会一致)
議案第22号	大田原市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条 例の制定について	原案可決 (全会一致)
議案第23号	大田原市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関 する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 (全会一致)
議案第24号	大田原市子ども医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定につ いて	原案可決 (全会一致)
議案第25号	大田原市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一 部を改正する条例の制定について	原案可決 (全会一致)
議案第26号	大田原市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準 を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 (全会一致)
議案第27号	大田原市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条 例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 (全会一致)
議案第28号	大田原市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 (全会一致)
議案第29号	大田原市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 (賛成多数)
議案第30号	大田原市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 (全会一致)
議案第31号	大田原市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 (全会一致)
議案第32号	大田原市勤労青少年ホーム条例を廃止する条例の制定について	原案可決 (全会一致)
議案第33号	令和4年度大田原市一般会計補正予算(第7号)	原案可決 (賛成多数)
議案第34号	令和4年度大田原市国民健康保険事業費特別会計補正予算(第1号)	原案可決 (全会一致)
陳情第10号	民主主義・立憲主義の基盤である思想・良心の自由、請願権等を守る為の 陳情	不採択 (全会一致)
陳情第12号	大田原市が推進するコロナウイルスワクチン接種についての陳情	不採択 (全会一致)

令和5年 第1回大田原市議会定例会における表決状況一欄

議案	伊賀純	秋山幸子	斎藤光浩	新巻満雄	前田則隆	大塚正義	菊地英樹	深澤正夫	櫻井潤一郎	滝田一郎	大豆生田春美	中川雅之	前野良三	菊池久光	君島孝明	引地達雄	高崎和夫	小林正勝
議案第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第2号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第3号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第4号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第5号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第6号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第7号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第8号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第9号	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第10号	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第11号	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第12号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第13号	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第14号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第15号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第16号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第17号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第18号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第19号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第20号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第21号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第22号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第23号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第24号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第25号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第26号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第27号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第28号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第29号	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第30号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第31号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第32号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第33号	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
議案第34号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
陳情第10号 (不採択に対して)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○
陳情第12号 (不採択に対して)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○

○：賛成 ×：反対 欠：欠席 ※君島孝明議長は採決に原則加わりません

代表質問・一般質問 市政を問う

代表質問とは

3月定例会において、次年度の予算や市長の施政方針について、同一案件や同一事業の一般質問の重複をさけるため、会派を結成する議員の中から、会派を代表して質問することです。

一般質問とは

定例会において、議員が市民の代表として、行政全般にわたり市の考え方や施策の進捗状況及び将来における政策方針等を質すことです。また、議員は市長等の答弁を受け、疑問を質すことはもとより、市民の立場に立った事務事業の改善や政策提言をする議員の重要な権限です。

(次ページ以降の質問及び答弁に関する記事は、質問した議員が自ら原稿をおこし、広報広聴委員会が校正して掲載しています。なお、原稿提出があった方のみ掲載しております。) ※顔写真横のQRコードから、質問動画を閲覧できます。

質問通告者と質問事項

順番	質問者	質問事項	順番	質問者	質問事項
1	政友会 菊池 久光	①令和5年度予算編成について ②大田原市民の将来設計について ③ふるさと納税について ④健康づくりについて ⑤所有者不明土地について ⑥日本遺産「明治貴族が描いた未来～那須野が原開拓浪漫譚(ろまんたん)」の構成文化財の一つである御亭山緑地公園について	6	斎藤 光浩	①家庭ごみの削減について ②インフルエンザワクチン接種の費用助成について ③災害時における要配慮者の対応について
		2	政友新和 自民クラブ 櫻井潤一郎	①大田原マラソンについて ②野崎駅周辺(駅東)の整備促進について ③「道の駅」の新設について ④農業委員の改選について ⑤デマンド交通「AIオンデマンドモビリティシステム事業」について	7
3	大田原 自民クラブ 新巻 満雄			①令和5年度予算編成について ②教育行政について ③市制施行70周年に向けた事業について ④財政健全化検証委員会について ⑤栃木県が行う令和5年度事業に対する本市の取組について ⑥美原公園の整備について ⑦婚活事業について ⑧市民の声について	8
		4	公明自民クラブ 中川 雅之	①令和5年度予算編成について ②ゼロカーボンシティの推進について ③保育士配置基準の現状と今後について ④大田原市名誉市民について	9
5	大豆生田春美			①女性の活躍推進について ②安全で安心な子育て環境の整備について ③带状疱疹ワクチンの予防接種について	10
		11	滝田 一郎	①将来を見据えた本市の農業行政について ②森林の主伐・再造林による森林の若返りについて ③市内商工業の活性化について ④デジタル社会の構築について	

※太字が掲載されている項目

所有者不明土地について

代表質問



問者席

政友会

菊池 久光 議員



日本遺産「明治貴族が描いた未来」那須野が原開拓浪漫譚」の構成文化財の一つである御亭山緑地公園について

質問…市内の所有者不明土地の現状について伺います。

答弁…本市の所有者不明土地については所有者、筆数、面積等を正確には把握していませんが、毎年度送付する固定資産税の納税通知書、または資産明細書の返戻数などにより一部その状況が把握できます。増減の状況を見ますと、横ばいの状況にあると認識しています。

質問…所有者不明土地対策計画作成や所有者不明土地対策協議会設置の考えがあるか伺います。

答弁…令和4年11月1日、所有者不明土地の利用の円滑化等に関する特別措置法が改正され、所有者不明土地対策に関する計画制度及び協議会制度が創設されました。この制度においては、市町村がその区域内の土地の利用状況や管理状況を踏まえ、所

有者不明土地対策計画を作成し、

計画的かつ一体的に対策を推進することが重要であるとされています。現在本市では適正な管理がなされず、問題となつている所有者不明土地が増加している状況にはないと考えています。先例自治体を参考に必要に応じて対策計画の作成及び対策協議会の設置を研究してまいります。

質問…開拓の舞台である那須野ヶ原を一望できるロケーションと山頂からの眺望を観光に生かすべきかと思いますが、考えを伺います。

答弁…御亭山緑地公園は梅や山桜に始まり、四季折々の木々など一年を通して自然の変化を感じ、那須野ヶ原扇状地を見渡せた上、富士山や日光連山などの山々も一望することができるこ

とから、市民の皆様のみならず市外からも多くの方に足を運んでいただいているところです。本市としましては、今ある豊かな自然やすばらしい景観そのものが観光資源であると考え、今

後も御亭山緑地公園の適切な維持管理に努めていきます。
質問…公園の東側の部分には市有林があると思います。眺望がよい所、花が咲いている所とい

うのは多くの人が訪れるのではないかと思えます。この辺の伐採について考えを伺います。

答弁…東側の眺望については支障になる部分、そちらの改善を行い、景観と環境の保全に努めていきたいと考えています。東側の樹木については、伐採を行い、眺望が良くなるように改善していきたいと考えています。

大田原マラソンについて

政友新和自民クラブ
櫻井潤一郎 議員



代表質問



農業委員の改選について

質問…公認コースの取得状況について伺います。

答弁…2月上旬に日本陸上競技連盟に公認コース取得を申請しました。今後、日本陸上競技連盟から派遣される検定員と日程を調整し、新コース全体の検定を受けて公認コース取得となる予定です。参加者募集の時期には、日本陸上競技連盟公認大会として、申込み受付開始ができて

ると考えています。

質問…3年間休止するという理由として、とちぎ国体があり、職員の負担が大きいのので休ませてほしいということでしたが、大会運営に関して、市職員の関わり方について伺います。

答弁…第32回大会では栃木陸上競技協会の役員をはじめ市職員、ボランティアの方々を含め、約1500人で運営してきました。

このうち、市職員は当時の職員数571人に対し292人であり、約半数の職員が従事しました。大会前日にも教育部内職員12人に協力いただき、スポーツ振興課全職員と合わせて24人で会場内準備等の対応をしました。第33回大会も、コースが休止前同様のワンウェイコースとなりますので、同等数の従事者で運営したいと考えています。

質問…農業委員及び農地利用最適化推進委員の制度改正によるメリット、デメリットについて伺います。

答弁…制度運営上の課題を挙げるとするならば、女性委員の登用率になるかと考えます。現任期中の女性委員は4人で、定数17人に対する割合は23.5%であります。国やおたわら男女共同参画プランで求めている

る30%には達していません。女性の社会参画推進に対しては、今回の改選では県レベルの女性組織が現職4人の女性農業委員とともに県内市町キャラバンを行って、市長、議長への要請書の提出、関係団体への推薦、応募の働きかけを行うなど、女性登用の目標達成に向けた取組を行っています。

質問…推薦、応募の状況について

て伺います。
答弁…農業委員は定数17人のところ候補者21人、うち女性は7人でした。農地利用最適化推進委員は、市内を43地区に分けて、その地区ごとに1人を選任しますが、推薦、応募がなかった地区が1つあり、2月28日時点では候補者42人で、全て男性でした。この内容は、農業委員会のホームページで公表しています。

教育行政について

代表質問



大田原自民クラブ
新巻 満雄 議員



財政健全化検証委員会について

質問…小中一貫教育の現状と今後の展望等について伺います。

答弁…小中一貫教育を縦軸、コミュニティ・スクールを横軸と促え一体化して推進し、子供たちの人間性、学力、コミュニケーション力、社会適応力の育成と向上を図ることを目標としており、その目標を達成するため、各中学校区では小中学校9年間の系統性を図ったカリキュラム

を作成し、小中学校の先生方が共同して授業力の向上を図っています。児童生徒の交流活動を充実させたり、中学校区で配慮を要する児童生徒の情報共有を行い、子供たち一人ひとりに適した教育環境を整えたりすることなどを中心に、各中学校区で工夫を凝らし取組を進めてきました。また、各中学校区の小中一貫教育に関わる計画について

は、学校だけでなく保護者、地域住民などが委員となり構成している学校運営協議会において承認をいただき、目標達成のための後押しをしていただいています。中学校教員による小学校への乗り入れ授業や、小中学校の合同での授業研究、児童生徒の交流活動、先生方が定期的に話し合う機会など、各中学校区で実施されています。

質問…財政健全化検証委員会による検討事項の進捗状況について伺います。

答弁…本年1月19日に開催、事業費補助金5事業の検証が行われ、現時点での検証結果は、誘致企業に交付する企業等立地奨励金については減額又は改善、学校給食サービス事業費等補助金は廃止、路線バス事業者及びデマンド交通事業者に交付する

地域公共交通活性化事業費補助金については継続、不採算医療等の機能を担う北那須地域の3病院に交付する公的病院等支援補助金については継続、市の融資制度を利用する中小企業者に対する信用保証料補助金については減額又は改善となっている。3月27日に事業費補助金8事業の検証が行われる予定で、会議の結果については、随時市ホー

ムページで公表することとします。本年度及び令和5年度の2年間の検証期間を設けており、令和5年度には検証委員会から助言、提言等の答申がでてからの内容を参考に、本市のさらなる財政構造の改善に向けて、引き続き財政健全化の取組を推し進めて参りたいと考えています。

令和5年度予算編成について

代表質問



公明自民クラブ

中川 雅之 議員



保育士配置基準の現状と今後について

質問… 令和5年度市単独補助事業予算について伺います。

答弁… 本市の補助金制度の基本指針に基づき、行政関与の必要性、市民ニーズ、費用対効果等を検証すると共に、団体の自主財源の強化及び業務運営の効率化を促し、補助金の継続、廃止、縮小等の検討を積極的に行い、原則として令和4年度予算額以下で要求する事と規定した所で

質問… 近年保育業界では、保育士不足や待機児童問題のみならず、特に保育士の配置基準の過酷な現状により様々な問題が挙げられています。国が定める保育士配置基準の現状は、1948年から約75年間ほとんど変わっていない事が、大きな問題として取り沙汰されています。本市の保育士配置基準の現状と今後についてお伺いします。

す。また、予算編成は各課等から提出された補助金現況調査及び収支決算書等により、各補助金の目的の達成度や費用対効果、財源構成、繰越金の状況を検証し、予算額を決定した所です。

質問… 市単独事業、団体補助金20%削減を、コロナ5類移行、原油価格・物価高騰に対応し元の補助金に戻せないか伺います。

答弁… 保育士配置基準は、保育所等が子どもの安全を確保し、保育の質を維持するために必要な保育士の配置で、現在の公立保育園の人員配置状況は、しんとみ保育園では、0歳児6人に対し保育士3人、1歳児16人に4人、2歳児19人に6人、3歳児28人に5人、4歳児41人に8人、5歳児39人に6人と、全ての年齢層で国の基準を上回る配

改善傾向に見られますが、県内各市と比べ基金残高など厳しい状況と認識しています。今回の物価高騰は補助金・市のサービス事業等にも大きな影響を与えていますので、一律に削減した

20%の補助金については、現状では元に戻す考えはありません。今後は、団体運営、事業の実施等が困難な場合は、増額の必要性について判断して参ります。

置を行い、保育士の負担軽減を図り手厚い保育に努めています。私立の保育所等についても、国の配置基準を満たす必要があることから、市が行う指導監査や給付申請を受ける際、配置基準を満たしているかの確認を行っています。尚、保育士等の負担軽減を図るため新事業として、保育補助者雇上強化事業を令和5年度当初予算に計上しています。

一般質問

家庭ごみの削減について



齋藤 光浩 議員



安全で安心な子育て環境の整備について



大豆生田 春美 議員



質問…本市の「子育て世代包括支援センター」事業の内容と取組の状況を伺います。

答弁…大きく3つの事業を展開しており、いずれも生後4か月未満のお子さんで支援が必要なご家庭が対象となります。産前産後サポート事業は、妊娠や出産、赤ちゃんの世話や授乳等の様々な母親の悩みだけでなく、父親の育児も応援、支援する事

業です。養育支援ヘルパー派遣事業も妊娠中から利用できる事業で、ご家庭にホームヘルパーを派遣し、家事支援や育児の補助を行います。また産後にご利用いただける産後ケア事業は、医療機関を利用し日帰りや宿泊にて産婦の心身のケアや赤ちゃんのお世話の練習を含めた育児指導を受けられるものです。

質問…国の体制は、伴走型支援

です。4か月未満の家庭を対象としているところは見直しが必要か伺います。

答弁…令和3年4月1日に母子保健法の一部が改正され、産後ケア事業の対象者は1年までと拡大しています。本市でも延長できるか委託先と調整を進め、令和5年4月1日から産後ケア事業は1年に引き上げるため、要綱改正等の準備をしています。

質問…プラスチックごみの回収について、進捗状況を伺います。

答弁…弁当の容器や清涼飲料水等ペットボトルの包装などにプラスチックマークのついた容器包装プラスチックは、那須地区管内でリサイクルを実施できる企業が存在しないため、容器包装リサイクル法に規定する指定法人、公益財団法人日本容器包装リサイクル協会に委託し、再

商品化する方法を検討しています。また、プラスチックハンガー、ポリタンク、プリンターなどの製品プラスチックは、市内にプラスチック材料として再利用が可能な企業もあることから、

企業と協議しながら再利用を検討しています。なお製品プラスチックは、昨年12月3日に小型家電のイベント回収に合わせて庁舎A別館前で試験的に回収事

業を実施し、1.3トン回収しています。今後の分別回収への取組としては、令和5年度中に市民の皆様を対象とした説明会を実施し、令和6年度から、

容器包装プラスチックごみは、ごみステーションで、製品プラスチックは、地域別にイベント形式で回収することを目標に調整したいと考えています。

一般質問

消防団消防施設等の更新計画について



大塚 正義 議員



質問…消防ポンプ自動車及び小型動力ポンプ積載車の更新計画について伺います。

答弁…本市では、消防ポンプ自動車を42台、小型動力ポンプ積載車を13台保有しています。令和5年4月1日からの組織改編により、13分団55部から11分団48部に変更となり、消防車両は現在の55台から52台に削減し、防火、防災体制を取ることとし

ています。車両の更新については、財政負担を平準化するため、古い車両から順に更新するよう計画を立て、更新時期の目安として消防ポンプ自動車を20年、ボンネット型のポンプ自動車にあつては17年としています。車両の状態が良好であれば継続して使用するなどの対応をしています。令和6年度以降は、車両の状態を確認しながら計画的に

更新を進めていきたいと考えています。現在は、該当する補助金がなく、地方債を活用して購入をしています。

質問…搭載型の小型ポンプ機器の更新計画を伺います。

答弁…本市の更新計画においては、車両と搭載型小型ポンプ機器を一体で更新することとしていませんので、個別の更新計画はありません。



深澤 正夫 議員



市長公約の「歴史を生かした観光地づくり」について

質問…市長はいつ頃までに、どのような施策で、進捗させていくのか伺います。

答弁…国指定史跡の上下侍塚古墳やそれらの成立に関わる古代の道、東山道駅路など、本市が特色ある歴史、文化の中でも重要な埋蔵文化財が集中すると推定されているのが湯津上地区です。本市では、東山道駅路やその付属施設である磐上駅家の所

在を明らかにし、それらを保存していくため、令和元年度からの5年計画で発掘調査を実施しています。また、栃木県事業となりますが令和3年度からの5年計画で侍塚古墳に関する発掘調査が実施されています。上侍塚古墳では二重口縁壺上部が形を留めた状態で出土し、更に装飾文様「棒状浮文」や二列の円形浮文の土器片も発見され、こ

のうち二列の円形浮文については、県内において初めて確認され、新聞報道等で大きく取り上げられています。同様のものは奈良県桜井市のホケノ山古墳で出土しており、この大田原の地と奈良県との関連性についても興味を持たれているところであり、歴史的な遺産が多く存在する湯津上地区は、より一層全国から注目を集めています。

栃木県立黒羽高等学校の存続について



秋山 幸子 議員



一般質問



伊賀 純 議員



新年度予算における、農業行政について

質問…第二期県立高等学校再編計画で特例校となった黒羽高等学校は、旧黒羽町の住民の皆さんの熱望によって創立され、昨年60周年を迎えました。同計画の進捗状況を伺います。

答弁…平成29年11月に栃木県教育委員会が策定した第二期県立高等学校再編計画において、令和2年度から3学級特例校となり、生徒数は定員120人に対し

110人程度で推移しています。第二期計画は令和4年度までの計画となっており、栃木県と本市との間で意見交換を行い、市内にある全日制高校3校及びび定時制高校1校の重要性を申し上げたところですが、

質問…市として存続に向けて取り組めることがあるか伺います。

答弁…生徒の地元への定着率も高く、商工業、農業の後継者として補助金交付の支援、畜産振興として放牧事業や各種畜産補助事業などを推進しています。

質問…新規就農者が農業を教えてもらおう「とちぎ農業マイスター設置事業」の対象となる農産物の種類を伺います。

なる生徒が多いことから、これからの大田原市を担う人材を輩出する学校であり、地域になくてはならない重要な学校であるとの認識に変わりはありません。3学級特例校として地域と一体となつて魅力ある学校づくり、地域を支える人材育成、そして生徒の確保に努められているのは十分に承知していて、存続に向けて努力して参ります。

質問…高齢化や農業の担い手不足が懸念されており、農業を守り、持続できる農業のため、従事者の支援、新規参入する方に対するの育成、後押しが必須です。持続可能な農政に向け、市の具体策、取組方を伺います。

答弁…対象品目はイチゴ、アスパラガス、ネギ、ナス、ニラ、梨の6品目です。

質問…米農家は対象にならない

答弁…新規就農者が園芸作物を希望した人に対しての研修というところで、水稻についてはマイスターの研修を受ける対象とならないということです。

進や、水田活用の園芸作物への

進や、水田活用の園芸作物への

市内商工業の活性化について

一般質問



滝田 一郎 議員



議員現在数について

令和5年2月28日に高瀬重嗣議員が大田原市議会議員を辞職したことに伴い、市議会議員に欠員が生じました。

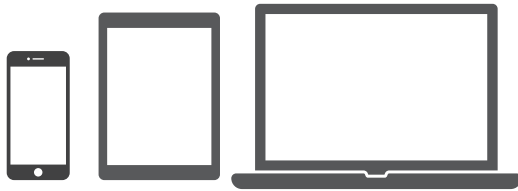
これにより、本市議会議員の現在数は18人となりました。

市議会ではインターネットによる生中継をしております

●アクセス方法

ご自宅等のパソコンから生中継をご覧いただく際は、市のホームページの「大田原市議会」から「議会中継」のページへお進みください。また、タブレット端末及びスマートフォンからも視聴できます。

なお、本会議の録画映像も市ホームページにて配信しております。さらに、議会報告会は公式Facebook、YouTubeでも配信しておりますので、ぜひご覧ください。



●大田原市ホームページ

<https://www.city.ohawara.tochigi.jp/>

●お問い合わせ先

大田原市議会事務局 ☎ 23-8714

質問…新規工業団地について伺います。

答弁…新規工業団地造成は長期的視野に立ち費用対効果や企業ニーズを勘案しながら進めます。

質問…新規工業団地開発に関する具体的な市の行動を伺います。

答弁…工業専用地域、工業地域で工場が立地していない地域は実取地区におよそ20ヘクタール弱あります。仮に企業等から立

地したいとのお話をいただいた場合には市は支援します。

質問…しっかりしたコンサル会社等による調査がないとタイミングを逃すのではないかとまず指摘させていただきます。新規工業団地の開発可能性調査は今の子育て支援とともに働く場所の確保という意味合いで子どもたちの将来に向けたプレゼントではないかと思うのです。再度

市長の見解を伺います。

答弁…新しい工業団地の必要性は私も十分認識しています。実取地区がどのような形で整備ができるのかを第一に考えています。その後に具体的な形で次の工業団地がどこにあつたらいいか考えていきたいと思っております。即答はできませんが宿題として受け止め庁内で検討します。

各委員会及び協議会の活動

総務常任委員会



委員長報告



総務常任委員会審査の様子

民生文教常任委員会



委員長報告



民生文教常任委員会審査の様子

建設産業常任委員会



委員長報告



建設産業常任委員会審査の様子

議会運営委員会の様子



全員協議会の様子



みなさんからの

請願・陳情

(委員会審査状況)

陳情第10号

民主主義・立憲主義の基盤である思想・良心の自由、請願権等を守る為の陳情

(令和4年11月提出)

(提出者)

栃木県宇都宮市石井町2470

基本的人権を守る栃木県民の会

代表 増淵 賢一氏

(陳情の趣旨)

大田原市及び大田原市議会において、特定の宗教法人及び関連団体との関係を遮断する内容の宣言・決議をしないことや、市議会議員を含む公人及び私人に対し、特定の宗教に対する信

仰の有無を問うたり、その団体との関係を調査・質問したりしないことを求める。

(総務常任委員会 審査の内容・結果)

意見として「陳情項目に、宣言・決議をしないことや調査・質問を制限しないことを求めている、このことは議会活動及び議員活動を制限することになりかねないものであり、容認できない」など議論がなされ、審査の結果、「不採択」とすることにしました。

陳情第12号

大田原市が推進するコロナウイルスワクチン接種についての陳情

(令和4年12月提出)

(提出者)

大田原市若草2丁目

千保 一夫氏

(陳情の趣旨)

子どもに対するコロナワクチン接種には特段の慎重さを持って、これに当たるべきこと及び乳幼児(生後6ヶ月〜4才児)に対しては即時中止を市当局に求める。

(民生文教常任委員会 審査の内容・結果)

意見として「子どもに対するワクチン接種は国から強制をされているものではなく、保護者の判断に任せるという形で慎重に進められている」、「中止は接種したい保護者に対しても接種させないことになってしまう」、「ワクチン接種は国が主導しているものであり、市が接種を行わないとするものではない」、「ワクチンを接種しないという選択肢もある」、「ワクチンの有効性や副反応については、WHO(世界保健機関)や日本の有識者会議等で議論されている」など議論がなされ、審査の結果、「不採択」とすることにしました。

〈請願書の書式例〉

《表紙》

〇〇〇に関する
請願 (陳情)

紹介議員名
(陳情は不要)



《内容》

- 1. 請願(陳情)の趣旨
- 2. 請願(陳情)の理由
令和〇年〇月〇日

請願(陳情)者
住所
氏名
大田原市議会議長あて



請願・陳情はこんな方法で

- 請願(陳情)書は、議会事務局へ持参してください。
- 内容は簡単な趣旨、理由、提出日、請願(陳情)者の住所及び氏名を記載し捺印して提出してください。
- 用紙のサイズはA4版でお願いいたします。
- 道路や水路等の場合は地図の写しや略図を添付してください。

1月～3月

協議会及び委員会の内容

全員協議会

◆1月16日 (報告事項)

1 大田原市公共施設マネジメント推進プロジェクト報告書について

2 大田原市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正に伴う関係条例の整備について

3 八溝山周辺地域定住自立圏防災講演会の開催について

4 令和5年度大田原市行政組織の改編について

5 大田原市成年後見制度利用促進基本計画の策定について

6 大田原市歴史民俗資料館展示室の休止について

7 大田原市歴史と観光シンポジウムの開催について

8 那須地区広域行政事務組合議会臨時会報告について

9 3月定例会の取扱いについて

10 市議会ホームページの議員紹介欄及び電話番号の取扱いについて

11 議会BCPのホームページの公表について

12 (協議事項) 市民5分間演説の取扱いについて

2 定例会常任委員会の開催期間について

3 議員充て職について

◆2月15日 (報告事項)

1 令和5年度大田原市当初予算

◆3月23日 (報告事項)

1 第4次大田原市地域ICT総合推進計画の策定について

2 大田原市地域防災計画の改訂及び大田原市水防計画の改訂について

3 大田原市第4次定員適正化計画の変更について

4 栃木県那須庁舎整備に伴う、大田原市と栃木県がそれぞれ所有する土地の交換に係る変更契約について

5 大田原市成年後見制度利用促進基本計画の策定について

6 第3次大田原市食育・地産地消推進計画の策定について

7 令和4年度大田原市教育委員会点検評価報告書について

8 いちご一会とちぎ国体における大田原市開催競技会の結果概要について

9 議会運営委員会報告について

10 (案)の概要について

11 要介護認定業務のDXによる安心の介護サービス提供事業について

12 大田原市デマンド交通「AIオンデマンドモビリティシステム」を利用した運行の開始について

13 大田原市勤労青少年ホームの廃止について

14 令和5(2023)年農地利用意向調査の実施について

15 上石上配水場におけるマイク口水力発電事業実施に伴う協定書の調印式について

16 令和4年度大田原市教育委員会点検評価報告書について

◆3月6日

1 委員長の互選について

2 付託議案の審査

◆3月15日

1 付託議案の審査

◆3月15日

1 付託議案の審査

◆3月15日

1 付託議案の審査

◆3月16日

1 3月定例会の取扱いについて

2 定例会常任委員会の開催期間について

3 市民5分間演説の取扱いについて

◆2月15日

1 大田原市須賀川財産区管理会委員の選任同意議案の取り扱いについて

◆2月27日

1 令和5年第1回市議会定例会

◆3月1日

1 副委員長の互選について

2 3月定例会の取扱いについて

3 3月定例会議案及び会議日程の取扱いについて

◆3月8日

1 委員長及び副委員長の互選について

2 分科会の設置について

3 会議日程について

◆3月15日

1 各分科会(第1、第2、第3分科会)

◆3月20日

1 全体会

◆1月24日

1 通年議会の導入について

◆2月10日

1 通年議会の導入について

◆3月23日

1 通年議会の導入について

2 申し合わせ事項の見直しについて

3 請願・陳情の表決確認について

◆3月28日

1 議会だより5月号について

2 議会報告会について



議
会
日
誌

1月

16日○会派代表者会議

○議会運営委員会

○全員協議会

24日○議会改革活性化特別委員会

26日○関東市議会議長会正副会長会議、第2回支部長会議

2月

9日○全国市議会議長会第230回

理事会・第114回評議員会

10日○議会改革活性化特別委員会



3月

14日○那須地区広域行政事務組合

議会定例会

15日○議会運営委員会

○全員協議会

16日○那須地区消防組合議会定例

会

27日○議会運営委員会



1日○会派代表者会議

○議会運営委員会

6日○令和5年第1回市議会定例

会招集(本会議)

○民生文教常任委員会

8日○本会議(代表質問)

○予算審査特別委員会

9日○本会議(代表質問)

13日○本会議(一般質問)

14日○本会議(一般質問)

15日○総務常任委員会

○民生文教常任委員会

○建設産業常任委員会

○予算審査特別委員会各分科会

20日○予算審査特別委員会全体会

23日○会派代表者会議

○本会議(議決)

○本会議(閉会)

○全員協議会

○議会改革活性化特別委員会

28日○広報広聴委員会



令和5年 6月定例会 開催のお知らせ

会 期 (予定)

市議会HPは
こちらから



6月19日(月)~6月30日(金)

※一般質問内容など詳細につきましては後日、議会ホームページで公開いたします。

『議会だより』の内容を音声で聞くことができます

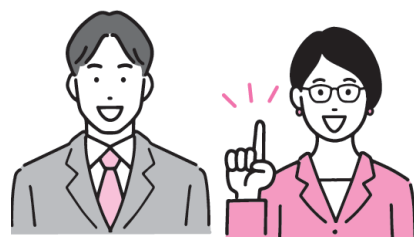
『音訳(デージー)版議会だより』をご希望の方は、下記へお問い合わせください。



● 大田原市福祉課 ☎0287-23-8921

市民5分間演説のお知らせ

大田原市議会では、市内に在住、在勤または在学する方で、議案に対する賛否や市の一般事務について、自分の意見を自由に発言することができる「市民5分間演説」を実施しております。随時、実施、休止を判断しておりますので、詳細はホームページにてご確認ください。





救急救命講習



那須地区消防組合と女性消防団員のご協力のもと、万が一の時に、人命救助ができるよう心肺蘇生法やAED（自動体外式除細動器）の使用方法、止血法等を学びました。

